

「宅地防災月間」-5月1日~5月31日-

5月は「宅地防災月間」です。

宅地災害は、いったん起こると家屋や家財、ときには尊い人命にかかわることにもなりかねません。

造成中の急斜面、無理な積み方をした石垣、風化の著しい崖面などは、

長雨、大雨等により思わぬ災害を引き起こすことがあります。

「宅地防災月間」は、大雨が予想される梅雨期を前に、宅地造成工事などによって起こる崖崩れや土砂の流出による災害発生を未然に防ぎ、宅地災害をなくするという目的で実施しております。

大阪府では、この期間中に府内市町村や消防、警察など宅地防災に関係する機関と協力して、次のような事業を実施します。

1. 防災パトロールの実施

パトロール隊を編成し、宅地造成地や土砂採取地などにおける造成地の防災工事の安全性などについて点検、指導をします。

2. 宅地防災技術研修会の実施

宅地防災知識の啓発、普及を図るため、5月下旬に、宅地造成事業者、設計者などを対象に宅地防災に関する技術研修会を開催いたします。詳しくは、5月1日から府、市町村などの宅地防災担当窓口にて配布いたします案内チラシをご覧ください。

また、ご家庭でも、これを機会に宅地災害を未然に防止するための必要な点検をお願いします。

次のような点について自宅の周辺を点検し、早急に適切な処置をしておくことが必要です。

1. 石垣、擁壁等に亀裂などは入っていませんか、また割れ目から地下水がしみ出していないですか。
2. 石垣、擁壁等の水抜き穴からうまく水が流れ出ていますか。
3. 地盤は沈下していませんか。
4. 排水のための溝に泥などがつまっていませんか。

なお、自ら簡便に点検できる「石積み・ブロック積みよう壁の自己診断マニュアル」を、各市町村の開発指導担当部局および各府民プラザ(各府民センタービル内)で無料配布しています。

宅地防災に関するご相談は、羽曳野市都市開発部建築指導課(内線2510)または、大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課(☎06-6944-6809(直通))まで

柏羽藤環境事業組合からのお知らせ

柏羽藤環境事業組合のごみ焼却工場(柏羽藤クリーンセンター)等から排出される排ガス中のダイオキシン類濃度の平成20年度測定結果を次のとおりお知らせします。

測定箇所		排出基準	測定結果	採取日	測定機関	
柏羽藤クリーンセンター	排ガス	1号炉	0.033 ng-TEQ/m ³ N	H20.7.29	帝人エコ・サイエンス	
		2号炉	0.0086 ng-TEQ/m ³ N	H20.7.8		
		3号炉	0.025 ng-TEQ/m ³ N	H20.7.1		
	焼却灰	1号炉	(埋立基準)	0.063 ng-TEQ/g		H20.7.29
		2号炉	3 ng-TEQ/g 以下	0.017 ng-TEQ/g		H20.7.8
		3号炉		0.0075 ng-TEQ/g		H20.7.1
	ダスト処理灰 ^②			1.4 ng-TEQ/g		H20.7.1
下水道放流水		10 pg-TEQ/l 以下	0.0052 pg-TEQ/l	H20.7.2	帝人エコ・サイエンス	
雁多尾畑最終処分場	処理水		0.000017 pg-TEQ/l	H20.12.3	帝人エコ・サイエンス	
	観測井水	上流	0.85 pg-TEQ/l	H20.12.3		
		下流	0.071 pg-TEQ/l	H20.12.3		

※1ng(ナノグラム)は、10億分の1gです。

※1pg(ピコグラム)は、1兆分の1gです。

※TEQ(毒性等量)：

ダイオキシン類には210種類の異性体をもつ化合物群があり、そのうち毒性があるとみなされているのは29種類です。この内で最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(四塩化ジベンゾパラジオキシン)の毒性を1とし、他のダイオキシン類の仲間の毒性の強さを換算した毒性等価係数(TEF)を用いてダイオキシン類の毒性を足し合わせた値を毒性等量(TEQ)として用います。

市民の皆様には今後ともごみの減量にご協力くださいますようお願いいたします。